

2025 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 京 成 電 鉄 株 式 会 社
代表者名 取締役社長 小林 敏也
(コード番号 9009 東証プライム市場)
問合せ先
総務部総務・法務課長 小松崎 一郎
(TEL. 047-712-7061)

議決権行使助言会社の推奨レポートに対する当社見解について

当社は、議決権行使助言会社である、Institutional Shareholder Services Inc. 及び Glass, Lewis & Co., LLC が、2025 年 6 月 27 日開催予定の第 182 期定時株主総会における取締役選任議案（以下「本議案」といいます。）について、一部候補者に対して反対を推奨する旨のレポート（以下「助言会社レポート」といいます。）を発行した事実を確認いたしました。

当社が各取締役及び監査役を候補者とした理由等については、招集ご通知に記載のとおりですが、当社といたしましては、当社の中長期的な企業価値の最大化に貢献し得る豊富な識見と高い能力、専門性及び独立性、並びに取締役会全体としてのバランス及び多様性等の観点から慎重に検討を重ね、当社グループの持続的な成長及び企業価値の向上への貢献を期待し、各取締役及び監査役を候補者としております。

助言会社レポートにおいて言及のある Palliser Capital Master Fund Ltd（以下、「Palliser」といいます。）から取締役候補者を推薦したい旨の意向を最初に示された段階からの経緯につきましては、2025 年 4 月 30 日に公表した「[Palliser との対話の経緯に関するお知らせ](#)」及び同年 6 月 6 日に公表した「[Palliser Capital の公開資料に関する当社見解について](#)」の通り、当社は、Palliser が推薦した候補者について真摯に検討するために、速やかに候補者の指名、経歴等の具体的な情報提供を要望し、Palliser 推薦候補者についても最大限真摯に検討するため、他の候補者と同様に指名・報酬委員会全員で面接させていただくなど公正なプロセスを経て検討を行っております。

また、助言会社レポートでは日本で公正妥当と認められた会計処理があたかも問題があるかのように指摘し、特定の仮定を基にした計算数値を用いて当社の ROE（株主資本利益率）や PBR（株価純資産倍率）が同業他社比で見劣りしていると指摘する記載もございますが、これらは当社に対してのみ恣意的な前提を置いて再計算して比較したものであり、公正な評価分析とは到底言えないものであると考えております。

当社が 2025 年 5 月 21 日に公表した中期経営計画「D2プラン」につきましても、助言会社レポートでは当社が保有するオリエントランド社の株式の短期的な売却と、合理性や具体性に欠ける施策を一貫して提案している Palliser の主張を擁護し、当社グループの長期ビジョン実現を見据えた経営戦略をご評価いただけていない内容となっていることは大変遺憾に感じております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの中長期的な企業価値向上を目指す経営戦略と、それを実現するために最適な取締役会構成についてご理解いただき、本議案へのご賛同を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

以 上